

令和7年度学校推薦型選抜

一般推薦

小論文

農学部 生物資源科学科

令和6年11月30日（土）実施

10時00分～11時30分

開始前に以下の注意事項をよく読んでおくこと。

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 「受験番号」は、解答用紙の受験番号欄に忘れずに記入すること。
3. この問題冊子には、1つの設問がある。
乱丁、落丁、印刷不鮮明の箇所があった場合には、申し出ること。
4. 解答は、必ず解答用紙の所定の解答欄に記入すること。
所定の欄以外に記入したものは、無効である。

(令和7年度 学校推薦型選抜)小論文試験問題

(農学部生物資源科学科)

【問題】

近年、以下の図のように、日本の基幹的農業従事者数*は約240万人(2000年)から約116万人(2023年)へと半減した。また、農業従事者の平均年齢は62.2歳から68.7歳となり、65歳以上の農業従事者が全体の約7割に達している。そのため、将来的に日本の農業は著しい労働力不足に陥ると考えられており、ドローンによる施肥や収穫ロボットといったスマート農業をはじめとした技術開発や新しい施策が求められる。そこで、将来の農業従事者の減少や高齢化に関して、上記のスマート農業技術以外であなたの考える解決策を800字程度で述べなさい。

「*基幹的農業従事者数:15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者」

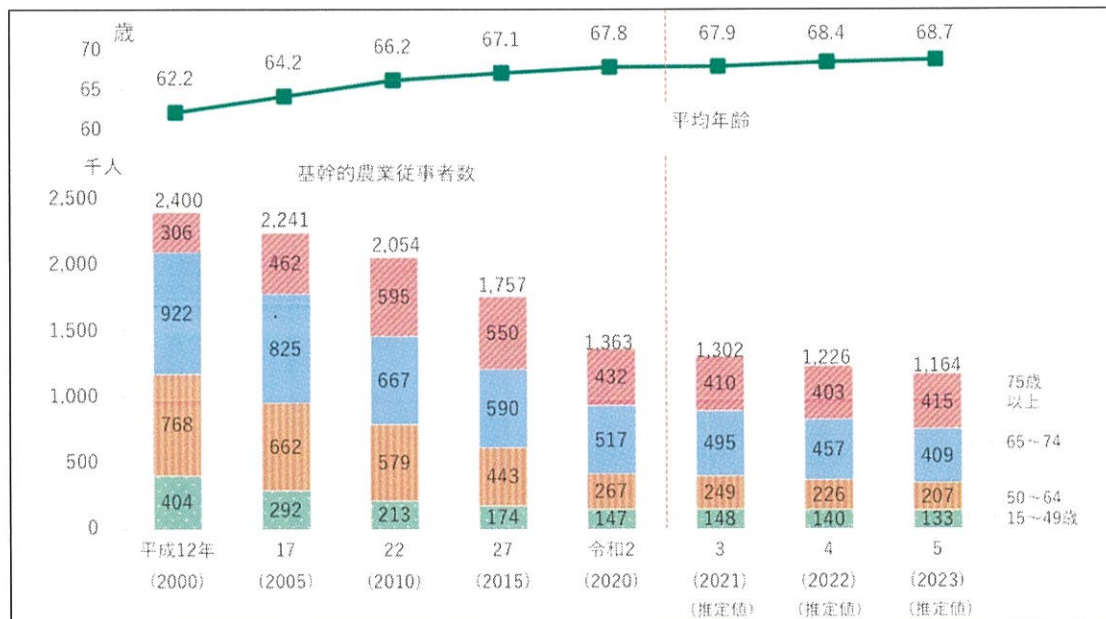


図. 基幹的農業従事者数と平均年齢

[引用: 第3章 農業の持続的な発展, 令和5年度 食料・農業・農村白書, p165-264, 農林水産省]